

Kids meet Latini'sキッズ・ミート・ラテン！



ご家族みんなで楽しめる人気の体感型コンサートがやってくる！超一流のラテン・ミュージシャンによる、歌って踊れるスペシャル・コンサート！

イトコサガシ代表・生きづらさと共に生きる」 「第3回」菅原直志氏（あしなが育英会評議員）・「違い」が社会を成熟させる」 「第4回」坂本洋子氏（里親ひろば ほんいっぴ代表） 「里親家庭のなかで育つ子どもたち」

の引込み線についてほか 【話題提供者】 森田勇氏ほか 【申込み】 9月18日(木)から公民館白梅分館 ☎ 553・3454へ。 ※白梅歴史懇話会は来年3月までの月1回（第二日曜日）を予定しています。皆さんの興味や関心をお寄せください。熊川の昔を語っていただけの方もご連絡ください。

【費用】 1,500円（材料費・茶菓代等） 【講師】野村文子氏（桜陶会） 【申込み】 9月19日(金)午前9時から材料費を添えて、直接公民館白梅分館 ☎ 553・3454へ。

▼10月から12月の予定

【場所】 市民会館大ホール（もくせいホール） 【料金】 全席指定大人2,000円、子ども（小学生まで）1,000円（税込） ※大人1人につき未就学児1人までひざ上無料

お茶席が初めての方でも立礼席で気軽に茶道を体験できます。 【日時】 10月12日・26日、11月9日・23日、12月14日・28日の日曜日午前10時～午後2時 ※お菓子がなくなり次第終了します。

今年度の陶芸教室はカップ、ソーサー、スプーンのティーセットにチャレンジします。初めての方でも大丈夫、土と炎がかもしだす陶芸の妙味をご堪能ください。 【日時等】 下表のとおり ※素焼き及び本焼きは全時間帯を参加者相互で分担

Table with 2 columns: 日時, 内容. Rows include dates from 10/16 to 11/13 and activities like オリエンテーション・成形, 窯入れ・素焼き, etc.

人へのやさしさ

命の大切さ、人へのやさしさを心に感じ取ってみてください。

【日時】 9月30日、10月7日、21日・28日の火曜日午後7時30分～9時30分（全4回） 【場所】 市民会館・公民館 第1・2集会室

昭和初期の熊川の様子を、当時を知る方にうかがいながら、地域の移り変わりや人々の暮らしの変化について懇談的に話しあっています。普段見慣れた風景もきっと変わって見えてくるはずです。

【日時】 10月12日(日)午前10時30分～正午 【場所】 公民館白梅分館 【定員】 先着30人 【今月の内容】 製糸工場へ

健康づくり推進員コーナー

市では市民一人ひとりが健康に対する意識を高め、健康づくりに取り組めるよう、健康づくり推進員が〈食〉〈体〉〈心〉のグループに分かれて、さまざまな活動をしています。 食グループでは、7月30日に皆さんから集めたレシピの審査会を開催しました。決定した5品をレシピ集として、健康まつり等で配布予定です。テーマはフライパンひとつでできるおいしい健康レシピです。ぜひご覧ください。 また昨年引き続き、市

民に「健康づくり」をアピールするため、体グループを中心に福生七夕まつりの民踊パレードに参加しました。 当日は43人の方に参加していただき、心グループの作成した「心も身体も笑顔で元気」ののぼり旗とあいまって「健康づくり」のアピールを図ることができました。 皆さんもこのような推進員活動に参加してみませんか？ ～季節を問わずうがい・手洗いを忘れずに！～ 【問合せ】 保健センター ☎ 552・0061

医師会だより 「発達障害」について

最近、大人の発達障害が注目を集めています。それは、ちょっと変わった特徴を持つ、人付き合いが上手でない人という特徴としてまとめられていて、そういう大人ならあちこちにいるということになってきました。 さらに、アスペルガー症候群と呼ばれる発達障害の一群が、時には天才的な、特異な能力を持つことから、単に知的障害ではない特別な存在として興味を持たれるようになりました。 しかし、歴史的には1943年に自閉症として提唱されたのが始まりでした。その後、自閉症は親の育て方が原因であるという考え方が生じる中で、保護者たちの激しい反発を招き、やがて自閉症の概念そのものが打ち消されていきました。20年後の1963年にアメリカで、ケネディーの知的障害に対する福祉施策を計画する中で「発達障害」という言葉が生まれたのです。そして、病気の概念としては多動性障害（ADHD）や自閉症スペクトラム、広汎性発達障害な

どが概念としてはそれぞれが重なり合いながら発展してきています。そして、今日は育て方の問題はほとんどタブーとなり、暗黙の了解として、遺伝性、生来性のものとして扱われるのが決まりごとになってきました。 しかし、現実に症例を見ていくと多動性障害が被虐待児と同じに見えるなど、いろいろなケースを見ていくときに生育環境を無視することにはどうしても無理があります。そもそも精神医学は人間関係の学問であり、すべてを遺伝子に還元したのでは学問として成り立ちません。物言わぬ弱い子どもたちと親たちとの政治的な力関係の中で、生来性の病気とされていく状況は、以前に分裂病はすべて遺伝であるとされた状況に似ています。発達障害とは多くの傷を負った子どもたちの心と脳であり、大人の発達障害とは、その傷を引きずりながら成長した大人たちの心と脳です。そして、理解の方法は、やはり近づき寄り添うしかないものと考えます。 【文責】 山本医師 【問合せ】 保健センター ☎ 552・0061

図書館イベント ※直接どうぞ

- ▼中央図書館おはなし会 【日時】 10月8日(水)・15日(水)・22日(水)・29日(水)各日とも午後3時～ 【場所】 中央図書館 【対象】 幼児～小学生
▼中央図書館おはなし会「おはなしのポケット」 【日時】 10月11日(土)午後3時～ 【場所】 中央図書館 【対象】 幼児～小学生
▼中央図書館乳幼児向けおはなし会「おはなしであそぼ！」 【日時】 10月7日(火)午前11時～ 【場所】 中央図書館 【対象】 乳幼児（1、2か月の赤ちゃんもどうぞご参加ください！）
▼わかぎり図書館おはなし会 【日時】 10月16日(木)午後3時30分～ 【場所】 わかぎり図書館2階 【対象】 幼児～小学生
▼わかぎり図書館乳幼児向けおはなし会 【日時】 10月22日(水)午前11時～



11時30分 【場所】 わかぎり図書館2階 【対象】 乳幼児と保護者
▼武蔵野台図書館乳幼児向けおはなし会 【日時】 10月15日(水)午前11時～ 【場所】 武蔵野台児童館1階 【対象】 乳幼児と保護者 ※武蔵野台児童館との共催 【問合せ】 各図書館へ。 中央図書館 ☎ 553・3111 わかぎり図書館 ☎ 552・7421 武蔵野台図書館 ☎ 553・8881
▼図書館から休館のお知らせ 図書館は、蔵書点検のため臨時休館します。 【臨時休館期間】 <中央図書館> 9月30日(火)～10月5日(日) <わかぎり・武蔵野台図書館> 10月7日(火)～9日(木) 休館期間中も中央図書館内郷土資料室および2階学習室は、午前10時～午後5時まで開室します。 ※わかたけ図書館は改修工事のため、平成27年3月31日まで休館中。 【問合せ】 中央図書館 ☎ 553・3111

費用の記載のない事業は無料です